

シラバス参照

科目名	保育内容(健康)(R7認定通信)										
学修方法	テスト										
単位数	1										
専攻・コース	免許法認定通信教育(幼稚園教諭)										
履修年次	-										
科目担当者	峰 友紗										
スクーリング担当者	-										
メディア授業担当者	-										
レポート添削担当者	-										
到達目標	1. 子どもが主体的に学び育つとはどういうことかを理解し、環境や保育者の関わりの重要性を「健康」の視点から考える。 2. 健康の概念を理解し、現代の子どもの健康課題とその課題解決にむけた保育者の役割について考察する。子どものウェルビーイングとエージェンシーの概念を学び、保育実践にどう活かすかを考察する。 3. 子どもの成長と発達過程について理解し、保育者として意図的に関わり、援助する方法について学ぶ。 4. 保育現場での安全のありかた、事故防止策を学び、子どもが安全に遊びながら成長できる環境づくりについて考える。 5. 乳幼児が基本的な生活習慣を身につける過程と保育者の支援方法について理解し、発達に応じた適切な援助や家庭との連携の重要性を学ぶ。 6. 乳幼児の運動発達の仕組みや段階を理解し、発達に応じた運動の適切な援助について学ぶ。 7. 遊びが乳幼児の心身の成長・発達への影響を理解し、遊びの役割や安全管理の工夫について学ぶ。										
授業計画	テキスト『主体としての子どもが育つ 保育内容「健康」』(2025)を使用します。本テキストは、2025年2月に刊行されたもので、子どもが生まれながらに主体であり、主体として育っていくことを前提に教科書が書かれており、そのような視点をもった上で、専門的な知識を得ることができるものとなっています。 本科目では、テキストの「序章 主体としての子どもが育つ保育への誘い」「第1部 保育内容「健康」の専門的事項」についての学びをもとに、理論と実践を結び付け、質の高い保育に繋がられるように学びを深めましょう。参考資料はスタディガイドの中で提示します。第2部の保育内容「健康」の指導法はさらに次の段階としての自分の学習として活用してください。 テキスト 序章 主体として子どもが育つ保育への誘い 第1部 保育内容「健康」の専門的事項 第1章 現代社会と子どもの健康 第2章 子どもの発育と発達 第3章 子どもの安全 第4章 生活リズムと生活習慣 第5章 子どもの運動発達 第6章 子どもの遊びと健康 全部で16章(序章と終章を含む)から構成されています。序章および1から6章が学修の範囲になります。本教科では、テーマごとに4つの部(パート)に分けました。第1部から第4部について、内容を理解しながら順を追って学んでいきましょう。各章ごとに、このスタディガイドにしたがってテキストをよく読み、乳幼児の成長、発達、健康の特性について理解を深めてください。学修する箇所のテキストを読む前に、〈この章のねらい〉と〈学修のポイント・ヒント〉を押さえてから始めるとよいでしょう。保育者には、気づき、理論、実践を結びつけることが重要になります。これからの時代を生きる子どもたちにとって、健やかに成長・発達していくことは子どもの権利のひとつであり、保証していくことが求められています。その援助を行う保育者に必要な知識を理解するとともに、その知識をどのように実践に活かすことができるかを、保育の実際を振り返りながら「主体的な学び」につなげてください。 テキスト、参考文献等を使って内容を十分理解した上で、Web 上に用意されたエクササイズ(小テスト)を受けてください。エクササイズは、計2回です。序章および第1章～第3章の学修が終わった後に第1回エクササイズ、第4章～第6章)の学修が終わった後に第2回エクササイズを受けましょう。合格点はいずれの回も60点以上とします。テスト結果はその場で分かるようになっていきますので、その後の学修の参考にしてください。2回実施したエクササイズがそれぞれ合格点に達すると、単位認定試験を受けることができます。この試験の結果をもとに成績が評価されます。										
成績評価の方法	<table><tr><td>a.学習方法ごとに「単位認定試験(100%)」により評価する</td><td>○</td></tr><tr><td>b.その他</td><td></td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果(50%)とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果(50%)を合計して評価する。</td><td></td></tr></table>			a.学習方法ごとに「単位認定試験(100%)」により評価する	○	b.その他				※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果(50%)とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果(50%)を合計して評価する。	
a.学習方法ごとに「単位認定試験(100%)」により評価する	○										
b.その他											
※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果(50%)とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果(50%)を合計して評価する。											
実践的教育を行う授業科目の種別	<table><tr><td>a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</td><td>○</td></tr></table>			a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○						
a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○										

	担当教員の実務経験(経歴・資格等)	峰 友紗 ＜免許・資格＞ 看護師・保健師 ＜経歴＞ 特別区保健師として母子保健・感染症・精神保健等業務に従事。子ども家庭支援センターでの相談業務に従事。
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	